



2018年3月14日

「風力発電事業者向け保険デューデリジェンスサービス」の提供開始

風力発電事業者の予防保全の取組みによるリスク低減効果を評価

SOMPOリスクアマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）は、「風力発電事業者向け保険デューデリジェンスサービス」（以下「本サービス」）の提供を、3月20日から開始します。本サービスでは、風力発電設備の損害保険手配前に、風力発電事業者の運用・保守（以下「O&M」）の予防保全の取組みによるリスク低減効果を考慮して総合的なリスク評価をし、保険仕様の設計を支援します。

1. 背景

風力発電は、そのポテンシャルから我が国の再生可能エネルギーのなかで最も導入拡大を期待されています。一方で風力発電は故障や事故が多く、計画通りの発電量が確保できない発電所も少なくありません。特に我が国では、台風や落雷、乱流といった故障・事故になりうる潜在リスクが、事業計画に多大な影響を与えていると言われていています。こうした潜在リスクへの対策として、リスクが顕在化した場合に備えて保険に加入することが、従来最も一般的でした。

しかしながら、こうしたリスクが顕在化する前に、予防保全の取組みにより故障・事故の発生や影響を低減できることが、近年の大学等の研究機関、メーカーおよび大手風力発電事業者の研究により明らかになってきています。

SOMPOリスクアは、東京大学等とともに、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「風力発電高度実用化研究開発／スマートメンテナンス技術研究開発」事業に2013年から5年間参画するとともに、風力発電設備の保守会社とも技術提携し、風力発電設備のO&Mに関するノウハウを蓄積してきました。

こうした知見を活かし、SOMPOリスクアは、本サービスの提供を開始することとしました。

2. 本サービスの概要

(1) 内容

風力発電プロジェクトにおける、「立地確定」「風力発電設備確定」「組立工事およびO&M計画策定」「保険手配」の4つの事業段階時期に応じて、リスク評価および保険仕様設計を支援します。リスク評価では、自然災害リスク評価に加え、風力発電事業者のO&M内容によるリスク低減効果を評価します。保険仕様設計では、リスク評価結果に応じた保険仕様設計を支援します。これにより、事業期間を通して安定かつ持続的な保険の提供を受けられる効果が期待できます。

また、O&M計画の改善アドバイスも提供し、風力発電設備の予防保全取組みの促進を後押しします（本サービスの詳細は＜別紙＞参照）。

(2) 費用・期間^(*1)

【1】費用（1発電所あたり）

- ①陸上風力発電設備：200万円（税抜）～
- ②洋上風力発電設備：350万円（税抜）～

【2】期間

事業段階に応じたサービスフェーズごとに、1～2か月で提供します。

*1 風力発電所の規模により異なります。

3. 受注目標

年間10件、3,000万円の受注を目指します。

4. 今後の展開

SOMPOリスクケアは、本サービスを含めた従来から提供しているさまざまな風力発電事業向けサービスを提供することで、風力発電業界の健全化に貢献してまいります。

SOMPOリスクケアマネジメントについて

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とするSOMPOホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「健康指導・相談事業」「メンタルヘルスケア事業」を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、健康経営推進支援、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部
リスクエンジニアリング開発部 [担当：足立、宝川、加藤]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-4320（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社
経営企画部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5468（直通）

以上

<別紙>本サービスの詳細

1. 対象

- (1) 国内陸上風力発電設備
- (2) 国内洋上風力発電設備

2. 内容

風力発電プロジェクトの各事業段階に応じて、以下4つのフェーズに分けて提供します。

事業段階	サービスフェーズ	詳細
立地確定	1. 自然災害等のリスク分析	立地における自然災害を中心にリスクを洗い出し、分析します。
風力発電設備確定	2. 風力発電設備の評価およびPML ^(*2) 算出	サービスフェーズ1の自然災害等リスク分析の結果を基に発電設備の設計安全性を評価するとともに、PMLを算出します。
工事計画およびO&M計画策定	3. O&M計画でのリスク低減効果の検証	組立工事計画に基づく施工リスクおよびO&M計画による予防保全取組みでのリスク低減効果を検証します。また、さらなるリスク低減のため、O&M計画の改善アドバイスを提供します。
保険手配	4. 保険仕様の設計	上記3つのサービスフェーズを踏まえた当該プロジェクトの総合的なリスク評価結果を基に、合理的な保険仕様設計を支援します。今後起こりうる故障・事故に対し、保険仕様の違いがキャッシュフローにどのように影響を及ぼすかを評価することも可能です(オプション)。ご希望により、再保険会社向けレポート ^(*3) を作成します。

*2 Probable Maximum Loss (予想最大損失額) の略。

*3 損害保険会社による再保険手配が円滑になる英文資料です。洋上風力発電の損害保険を検討する場合にはご希望により作成します(オプション)。

3. 特徴と効果

- (1) O&M計画のリスク低減効果を評価することで、予防保全取組みの普及・加速を促し、故障・事故の低減により健全な風力発電事業の実現が見込めます。
- (2) S O M P O リスケアがO&Mによる予防保全取組みの具体的手法をアドバイスしますので、費用対効果を見ながらO&M計画の見直しをご検討いただけます。
- (3) リスク評価に応じた保険仕様設計を支援しますので、各風力発電所のリスク実態を反映した保険条件の手配が可能となります。さらに、予防保全的なO&Mの伸展により故障・事故が減少することで、安定かつ持続的な保険の提供を受けられる効果が期待できます。